

令和4年度北本市立東小学校 自己評価及び学校運営協議会評価書(まとめ)

評価項目	No.	観 点	自己評価		外部評価		
			A+B /全体 (%)	自己評価についての説明及び来年度に向けての改善策	自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ	学校の取組に関する評価と今後の改善点等
組織運営	1	学校教育目標の具現化に向けて、教育課程の編成、指導計画の作成等に工夫している。	100	○指導計画の作成について ・今年度の反省を生かした計画を3月中に作成する。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 適切な話し合いがなされ、改善策が講じられている。 学校運営全般については組織的、計画的に実践する仕組みが整っていると感じる。 休憩時間にクラブや委員会等の活動が入るのであれば、時間の見直し等で改善することが必要だと思う。 生徒指導や事故等の報告、連絡、相談をどうしたら迅速にできるかがポイントとなる。初動にて誰に報告するのか、その後の対応についても体系化して、それを全教職員で共通理解することが大切である。 今後もPDCAサイクルのもと学力向上に取り組んでほしい。 いじめ等のトラブルについては、小さな段階で解決できるように教職員がアンテナを張り、情報共有して取り組んでほしい。 はさみの取扱い等、危険のないよう指導してほしい。
	2	PDCAサイクルのもと学級・学年経営や教科経営・校務分掌にあたっている。	100	○児童や生徒指導案件に関する情報共有と対応策について ・引き続きレコーディングシート等を活用し、共通理解・共通行動を徹底する。 ・重大な生徒指導上の問題が発生した際の対応のマニュアルを見直し、職員室に掲示する。 ○校務分掌の確実な引き継ぎについて ・校務分掌振り取り・引き継ぎ書を作成し、毎年更新していく。	A	A	
	3	事故やトラブル等に対してのマニュアルを作成・掲示・活用し、迅速に対応している。	92	○事故やトラブルに対してのマニュアルについて ・確実に見直しを行い、全教職員で共有する。	A	A	
	4	すべての教育活動を通じて、教職員の共通理解のもと、組織的に生徒指導にあたっている。	96	○迅速な報告・連絡・相談について ・本校のいじめ初期対応マニュアルに則ることを確認した。 ・年度当初に再確認する。	A	A	
基礎学力の徹底	5	児童は、落ち着いて学習内容を理解しようとしている。	88	○課題のある児童への対応について ・少しずつ落ち着いてきている。引き続き全教職員で対応していく。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 先生方の工夫した取組により、子供たちが落ち着いて授業に参加できている。 先生方が一枚岩となって児童の学力を向上させようとしている様子がとても伝わってくる。何をしたら効果が上がったのか、何が有効な手立てなのかをこれからも皆で考え実践していただきたい。 配慮を要する児童へは、支援員の増員が望ましい。 先生方の育成に関してもOJTを取り入れ、授業の相互参観をするための時間を確保していることは、これからの教育に必要なことと思う。是非続けていただきたい。 タブレットの効果的な活用について、研修等計画するのはよい。 温度差はあるが、家庭で学習する習慣がついていないように感じる。 学校と家庭で一体となって、学力向上を図ってほしい。 学校と保護者が話し合える機会がたくさんあるとよい。
	6	学力向上をめざし、児童の実態に基づいて授業改善に努めている。	100	○OJT(教員がペアで授業を見合い、意見交換し、より良い授業をめざす研修)は学級活動だけではなく、教科の学習も見合えと良いとの意見があり、ベテラン、中堅を中心に日頃の授業を積極的に公開してもらおう研修等で依頼していく。	A	A	
	7	基礎学力の定着や学習規律の確保など、共通理解のもと、学習指導にあたっている。	96	○タブレットの効果的な活用について ・研修計画を立て、授業や家庭でより効果的に活用させる。 ○支援が必要な児童への手立てについて ・引き続き、支援員による支援、少人数指導、個別指導を行う。 ・授業妨害等は、担任外等の応援要請～保護者へ連絡等の対応を徹底する。	B	A	
	8	家庭学習を定着させるために、家庭に積極的にはたらかせている。	92	○家庭学習の習慣化に向けて ・家庭学習のおしりのはじめに、家庭教育の大切さや、生活習慣についてなどの内容を入れる。 ・具体的な学習の方法に、タブレットを用いた学習内容について明記する。 ・学期初めの1週間を、生活習慣チャレンジとして、チェックカードを配布し、家庭で生活習慣を意識した生活を心がけさせる。(担任からは、○かハコを押して返却)	B	A	
規律ある態度の育成	9	児童は、友達や教職員、来校者に進んであいさつができる。	76	○あいさつ・言葉づかの指導について ・率先垂範。大人(学校:教職員、家庭および地域:保護者や地域の方)がお手本となり、言葉遣いや挨拶、返事をきちんと行う。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 今年の児童は、あいさつがよくできている。新通学班の班長にもあいさつ指導を行ってほしい。(班長がすれば班員もする。) 挨拶を返してくれる子が増えてきたように感じる。 昨年度より挨拶ができていくと感じている教職員がいる一方で、「まだできる」と考えている教職員がいることは組織としての向上心があり素晴らしい。教職員が「やり切った」と思うまで突き詰めてほしい。 あいさつのできない児童がいることは残念。 児童もそうだが、教職員の中にも校外では挨拶しない人が多数いる。 児童同士が互いを認め合う雰囲気ができてきているのは先生方の指導の賜物である。 互いのよさや努力を認め合う態度の育成に関する具体的な方策を知りたい。 先生方のご苦労に感謝する。 学校全体で(教職員も児童も)活気を上げてほしい。
	10	児童は、場に応じた正しい言葉づかいができる。	76		B	B	
	11	児童は、お互いのよさや努力等を認め合って学校生活を送っている。	88	○互いのよさや努力を認め合う態度の育成について ・大変な子を理解して認め合って生活している児童がたくさんいる。 ・支援を必要とする児童が多いので、加配教員等を要望する。	A	A	
	12	すべての教育活動を通じて、児童に対して規範意識を高める指導を行っている。	100	○落ち着いたない児童・学習規律を守れない児童への対応 ・担任だけではなく、複数の教職員で対応する。さらに、管理職に確認してもらい、必要ならば保護者へ連絡を入れる。一確認、判断、連絡の一本化	A	A	
健康・体力	13	児童は、体力向上に向け、学校生活全般で意欲的に取り組んでいる。	96	○運動会の内容について ・全校が一室に会する形式で実施したい。 ・低中高ブロックで表現(ダンス)、団体競技を行う。 ○マラソン大会について ・児童が意欲的に取り組める安全な大会を検討する。(学校外には出さないで実施する。)	A	A	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でどのように体力をつけさせるかは永遠のテーマのような気がする。 マンネリ化もしやすい項目なので、先生方のフレッシュなアイデアをフルに活用していただきたい。 運動会は、大きな行事の一つなので、コロナ対策を踏まえて、工夫して実施してほしい。 運動会やマラソン大会は安全第一で、実施できるとよい。 コロナ前の生活に戻ってあげたいと思う。
	14	児童の健康及び安全についての意識を高めようと努力している。	100		A	A	
保護者・地域・異校種間連携	15	PTA活動や地域活動等に積極的に協力している。					<ul style="list-style-type: none"> HPで学校の取組の様子がよくわかる。今後もぜひ続けてほしい。(分かりやすく迅速に) より細やかに伝えられるとよいと思う。 異校種間交流は来年度が3年間の研究の集大成であることより、密に連絡を取り合い、児童生徒の自尊感情を高揚させるための手立てを講じたい。 コロナで地域との接点も希薄になっているので、少しずつ回復してほしい。 40数年夏休みに実施していた地区の人達とのパトロールをなくしてしまったのが残念。
	16	各種たよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報提供している。	96	○たよりやホームページでの情報提供について ・引き続き、わかりやすい情報発信に努める。	A	A	
	17	保護者や地域と連携し、不審者対策のパトロールや声かけ運動などの計画を立てて定期的に実施している。					
	18	異校種間の連携を積極的に推進している。	100	○異校種間連携について ・コロナ等の状況をみながら、できるだけ交流、連携を行う。	A	A	

学校独自の項目	1	いじめ等、児童のトラブルについて把握をしようと努め、適切に対応している。	100	○トラブルに関する情報共有について ・レコーディングシートを活用して、効率よく早期に関係者がトラブルを知り、解決に向かうことができる。 ・仲良しアンケートの実施や学年での共有ができています。 ・生徒指導委員会や職員にて、いじめ行為以外にも心配なことは状況報告するようにした。	A	A	・マニュアルをベースに早期発見および対応ができています。 ・なかよしアンケートは、よい方法だと思ふ。 ・表面化していないものも掘り下げて把握し、対応してほしい。 ・思いやりの心をもち、他人にやさしく育てる子（東っ子）を育ててほしい。 ・運動会のスローガン「助け合い 友を信じる 東っ子」のように。		
	2	児童の実態を考慮して、学年・学級目標を設定している。	100		A	A	・学校訪問時に汚さを感じてはいない。引き続き、ボランティアの力を借りてほしい。 ・清掃に対する先生方の意識が高いことがうかがえる。引き続き指導していただきたい。		
	3	清掃活動や掲示教育に力を入れるなど、組織的に環境美化に努めている。	88	○清掃について ・第一生命さんから「以前よりトイレがきれいになっている」との言葉あり。 ・児童に清掃の仕方をしっかり指導する。 ・トイレ掃除ボランティアを募り、協力を依頼する。 ・振り返りカードについては、検討する。	A	A	・道徳については全学級を巻き込んでの「命の教育」はとても素晴らしい取組だと思ふ。今後の児童の生活の中で生かしていただきたい。		
	4	教科の年間指導計画は適切である。	100		A4 C0	B3 D0	A5 C0	B2 D0	・クラブや委員会は、貴重な体験となるので、他行事とのバランスを考慮して推進してほしい。 ・食育について、お便りの配布と担任により読み聞かせをしていることで、児童にもわかるように説明していることは必要な取組と感じられる。一方で負担に感じている先生方も見受けられるので、そのバランスが難しいところだと思ふ。
	5	児童は、教職員の指導の結果、読み・書き・計算の基礎・基本を身につけている。	96	○基礎・基本の定着に向けて ・家庭学習の習慣化→基礎学力の徹底参照	B	B			
	6	教職員は、道徳教育を中心に、児童に豊かな心を育むよう努めている。	100	○道徳・食育について ・引き続き、充実した道徳教育・食育を計画・実践する。	A	A			・ICT化が進む現代ではあるが、道徳教育を徹底してほしい。
	7	学校は、栄養バランスのとれた規則正しい食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めようとしている。	100	○クラブ・委員会活動について ・委員会：45分で1回/月（委員会の仕事を機能させるために必要） ・クラブ：60分で活動時期の見直しとともに回数を減らす （①運動会、体育大会、音楽会を含む学校行事や訪問などの時期を考慮する②日課表の見直しをして、職員の休憩時間の確保をする） ・児童会・委員会・計画委員会・代表委員会の関係をわかりやすくする。	A	A			
	8	児童会・委員会・クラブ活動で、児童が主体的に活動している。	96		A	A			
	9	児童は読書の習慣を身につけ、主体的に取り組んでいる。	96	○読書指導について ・読書の習慣化に向け、計画的に指導する。	B	A			
	10	学校は、学校応援団と連携を図り、教育活動の充実に努めている。	96	○学校応援団との連携について ・学校応援団の人数や活動の拡充を図る。（5月に再募集）	A	B			・再募集の手段と募集範囲、拡充が必要か否かの判断は難しい。多ければ良いというわけではないので、バランスが重要。 ・保護者・PTAと連携した学校運営をお願いしたい。 ・地域へ呼びかけることは、とてもよいと思ふ。
	11	教育目標の具現化に向け、研修内容を設定し、指導力の向上、児童の学力向上をめざした研修を推進している。	100	○研修の推進について ・研修内容の深化・充実に努め、その成果を発表する。	A	A			・働き方改革は、具体的に実施する内容が教職員間で共有されているようだ。是非多くの教職員の意識を変えられるような取組や一人一人に対して物理的に時間が生み出せるようなサポートをお願いしたい。 ・先生方も心の病にならないように無理をしないでほしい。 ・先生方の頑張り感謝している。長時間労働にならないよう気をつけてほしい。 ・業務改善について、必要なことは市へも要望した方がよい。
	12	働き方改革を推進し、業務改善等に取り組んでいる。	96	○働き方改革について ・一人一人が意識しながら、無理なく進めていく。 ・市教委へ人員の配置を強く要望する。（加配、スクールサポートスタッフ等） ・避難訓練：年間4回、通学班会議：学期1回にする。 ・引き渡し訓練：5月下旬（隔年） ・日課表を見直す。 →特別日課・水曜日課を同じにする。 休憩時間を確保し、会議等を時間通りに始めやすくする。	A	A			

来年度の重点目標（共通項目・学校独自項目の評価結果を踏まえて）

学校運営協議会の総評

1	豊かな心・規律ある態度の育成 道徳教育や特別活動の充実、生徒指導・教育相談、人権教育の推進		・コロナ禍の中、よく対応している。 ・学校全体で積極的に学校評価を進めていて、とてもよい。 ・確実に問題解決の方向に向かっている。
2	確かな学力の向上 研修の深化・充実、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善、体験活動の充実 家庭学習の習慣化		・年々児童の様子が落ち着いてきていることを感じる。 ・内部から見れば課題は山積していることかと思うが、一つ一つ丁寧な解決していくことで先生方が目指す児童像に近づいていくと思ふ。
3	健康・体力の向上 体育授業・体育的活動の充実、外遊びの奨励		・今後も先生方が体と心のバランスを保ちながら最高のパフォーマンスを発揮できれば、さらに東小児童が人間性豊かに成長していくと確信している。
4	教職員の資質・能力の向上と働き方改革 各種研修の充実、ライフステージに応じた研修の推進、 倫理確立委員会や教職員事故防止研修の計画的な実施		・児童数が年々減っていますので、活気ある学校運営をお願いしたい。 ・今後も先生方の団結力が一層発揮され、東小が益々明るく活気ついた学校になることを期待している。

<p>北本市立東小学校 学校運営協議会（敬称略）</p> <p>会長 中谷 浩美 委員 池島 國夫 委員 新島 ちえ美 委員 松浪 光子 委員 本間 渉</p> <p>委員 木暮 克敏 委員 恵守 孝二 委員 竹越 典子 委員 宮本 翔</p>	<p>外部評価実施日</p> <p>第1回 令和 4年12月 8日（木）紙面 第2回 令和 5年 2月 6日（月）紙面 第3回 令和 5年 3月 7日（火）</p>
--	--

*「自己評価の適切さ」について

A:適切な評価である B:ほぼ適切な評価である C:やや不適切な評価である D:不適切な評価である

*「改善に向けた取組の適切さ」について

A:十分な効果が期待できる B:ほぼ十分な効果が期待できる
C:あまり効果が期待できない D:効果が期待できず改善を要する

*学校の取組に関する評価と今後の改善点等について

- ・評価項目ごとの取組状況に対する評価や今後に向けての要望等を記入する。
- ・自己評価書の項目を網羅的に評価するのではなく、「自己評価の高かった（低かった）項目」や「今年度の重点的な取組」に絞って記入する。

*その他全体的な留意点

- ・外部評価書は1枚にまとめる必要はありません。（2枚以上可）
- ・共通項目と学校独自の項目を別様に作成してもかまいません。
- ・学校独自の評価項目、評価項目数は、各学校で決めてください。
- ・学校運営協議会の総評欄は、共通項目、学校独自の項目の両方を踏まえての総評を記入してください。